

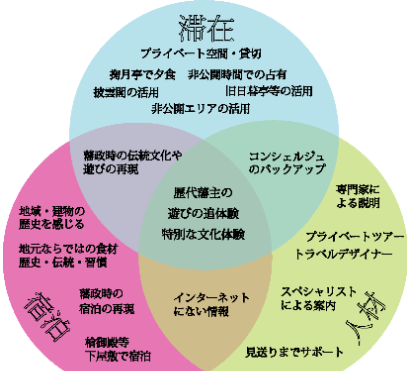
●本事業の目的

栗林公園において、既存の利用形態とは異なる新たな高付加価値コンテンツとして、宿泊や飲食、歴史の追体験等を伴う滞在型コンテンツを提供することができれば、国内外の旅行者に強い訴求力を持つことが期待される。

本事業では、時代とともに失われた栗林公園の歴史的建造物の再現を通じて、新たなレガシーとなる観光資源を形成することを目指し、歴史的建造物の復元または復元的整備(以下「復元等」という。)・改修及び活用に関する基本調査等の実現可能性調査を行うことを目的とする。

●栗林公園の観光資源調査(プロセス1)

栗林公園の利用状況調査や歴史的資源調査等を行った。また、Educated Traveler・インバウンドの高付加価値旅行者にコンテンツの造成・販売を行っている旅行者へのヒアリングを行い、栗林公園に期待するコンテンツ等のニーズを整理した。



ニーズ調査によって抽出されたキーワード

●観光資源の活用方策検討(プロセス2)

園内に現存する建築物・現存しない建築物の史実を考慮し、改修・復元等を想定した活用方法を検討した。さらに、プロセス1を踏まえ、提供するサービスやストーリーを検討した。また、国内外の観光施設と比較し、栗林公園の滞在型コンテンツをどのように差別化できるか検討した。

コンテンツ例・検討事項(※プロセス2一部抜粋)

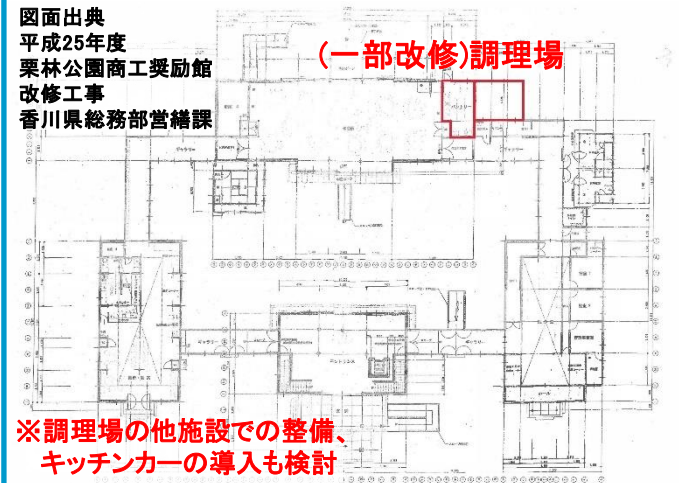
- ・和装体験
- ・いただきさんによる食材献上の演出
- ・玉藻公園披雲閣の利用
- ・馬、籠、人力車による移動、入園体験
- ・夜間のライトアップ
- ・夕食のメニュー、うつわの選定、お酒の選定、菓草の利用、梅、茶の利用・調理場、空調の検討
- ・樹木の剪定体験
- ・庭園の講義とプライベートツアー
- ・鷹狩の再現
- ・鴨場の見学と体験
- ・四季折々の見処見学
- ・武道、剣道、鉄砲、試切、流鏑馬の見学体験

国内外の観光施設との比較(※プロセス2一部抜粋)

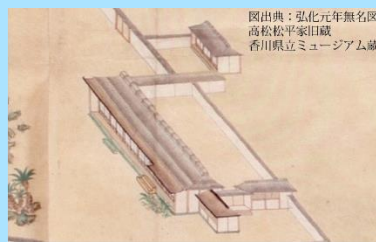
- ・大洲城(愛媛県)
- ・平戸城 懐柔櫓(長崎県)
- ・丸亀城(香川県)
- ・シャトー・メルキユエス(フランス)

商工奨励館一部改修案(※プロセス2一部抜粋)

図面出典
平成25年度
栗林公園商工奨励館
改修工事
香川県総務部営繕課



観光資源の活用方策検討(※プロセス2一部抜粋)



権御殿等の宿泊施設の検討

藩政時の用途

権御殿：藩主の下屋敷住居であり、来客や家来との接見の場として使われていた。

施設活用の可能性

権御殿の復元等を行った場合は、かつての使われ方と同様の滞在・宿泊施設として活用できる。

下屋敷として重要な滞在場所ができ、宿泊等滞在型コンテンツの中心施設として活用できる



掬月亭の活用検討

藩政時の用途

饗宴の場として使われていた。接待の建物として、江戸期には大規模な宴が可能な大茶屋建築

施設活用の可能性

夕食は、閉園後の掬月亭を貸切利用する。舟で南湖から掬月亭に向かう。

掬月亭で、かつての献上品や穆公御茶事記を参考にした夕食の提供、能楽の鑑賞・華道体験等



旧日暮亭の活用検討

藩政時の用途

西湖と赤壁を眺められる茶屋建築 江戸時代から舟を留め、亭に入りお茶席を楽しんでいた。

施設活用の可能性

建物内部非公開の茶室を活用。西湖で舟遊びを行い赤壁等を鑑賞した後、旧日暮亭でお茶席を体験する。

西湖を船で周遊。旧日暮亭で茶道体験

●歴史的建造物の復元等

・改修及び活用に関する基本調査(プロセス3)

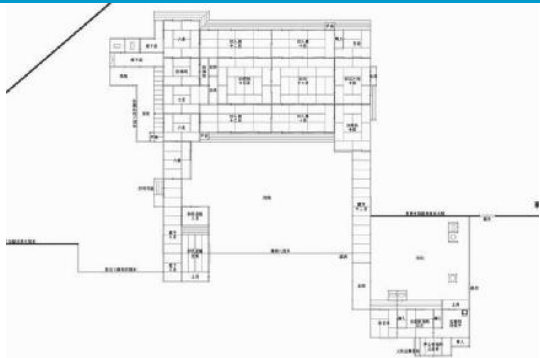
施設として活用の可能性がある歴史的建造物に関して、改修・復元等を検討するために、絵図史料等から得られる情報を整理した。

また、建造物の改修・復元等を行う際の課題や、今後、園内での食事提供を充実していくうえで不可欠な調理場の設置などの課題を整理した。

●レガシー形成案の策定(プロセス4)

事業のコンセプトを「栗林公園とその周辺資源を活用した歴史の追体験と特別な文化体験」と定め、モデルプランを作成。実現に向けた課題をまとめた。

檜御殿復元素案(※プロセス3一部抜粋)



実現に向けた課題(※プロセス4一部抜粋)

・文化庁等 関係省庁との協議

特別名勝としての栗林公園の保存・活用方針を示す、「特別名勝栗林公園保存並びに活用基本計画」と矛盾しない事が前提。文化庁等の関係省庁との協議が必要。

・建築基準法への適合

特定用途制限地域への許可等

・景観条例、風致地区 ・都市計画法 ・都市公園法

・消防法 ・旅館業法

・上下水道等インフラ整備 ・財源の確保 等

宿泊のための建物の改修・復元等のフローチャート

a.文化庁協議

b.保存活用計画整備基本計画の見直し

c.発掘調査等

d.基本設計(復元計画・復元図作成)

e.実施設計

f.現状変更許可

g.施工

モデルプランの一例(※プロセス4一部抜粋)

玉藻公園披雲閣から馬・籠・人力車等で金毘羅街道を移動

栗林公園北門から入園
檜御殿等に到着・休憩
古図を使った特別講義等

樹木の剪定体験

閉園後の園内散策・舟遊び
ライトアップした園路や南湖を周遊
舟で掬月亭を目指す



掬月亭で夕食
藩主の食事を追体験
能楽等の体験

檜御殿等で入浴・就寝
藩主の下屋敷での宿泊体験

梅・薬草等を用いた朝食

舟で西湖を周遊
旧日暮亭で茶会



※1: 図出典: 檜御殿図 香川県立ミュージアム蔵

●来年度以降の取組について

歴史的建造物を改修・復元等するために、関係省庁との協議や財源の確保等の課題がある。事業実現に向け、閉園時間の有効活用や既存施設の機能の最大化等、早期の実現が見込まれるものから優先的に検討することが望まれる。